

## 美術Ⅱ

### 美術Ⅱの授業について

コロナウイルスによる休校、自粛が続く中、5月も終わりに近づいてきましたが、皆さんは有意義な生活を過ごせていますか？登校も始まっていますが、なかなか授業も思うように進まず、不安もあるかと思いますがこれから一緒に頑張っていきましょう！

#### ○教員紹介

樋口 奎人(ひぐち けいと)

好きな食べ物：魚介類全般(肉はあまり食べません)、茶碗蒸し

好きな飲み物：炭酸水、ブラックコーヒー

趣味：アクアリウム作り、昼寝、ペット(モモンガ)と遊ぶ

好きな芸術家：安藤忠雄、イサム・ノグチ、名和晃平、山下工美、深堀隆、 etc.

活動：大学卒業後すぐに大学の助手として4年勤務の後に大阪狭山市で独立。以後、展覧会とパブリックスペースを中心とした制作活動を中心に、高校の非常勤講師、介護施設の陶芸教室、今年1月から個人ブランド「tabie」での活動もおこなっています。

#### ○内容

主に鉛筆、アクリルガッシュ(不透明水彩)絵具を使用します。

また、平面よりも立体での制作が中心になります。

紙や粘土を使った立体表現、透かし技法、トリックアート、静物画・・・

#### ○評価(100点満点)

平常(出席・授業態度 etc.)+作品(提出課題・レポート etc.)

作品が良くても授業態度や指示を聞いていないことがあると、成績が悪く(最悪欠点)になることがあります。メリハリをつけて臨みましょう！

+α 話を聞き、ポジティブな質問や制作意欲があれば授業態度評価が上がります

## ○作品

おおまかに5段階で評価します。

A	アイデア、コンセプト◎、作業が Perfect (完璧)
B	作業が Good(丁寧)
C	完成(期日内での完成の速さは関係なし)
D	未完成(先生判断)
E	未完成・未提出(ほぼゼロに等しい)

## ○平常

美術は二単位履修です。欠席数によっては単位認定ができませんので気をつけてください。また、たとえ注意がなくとも、皆さんが思っているよりもこちらからは皆さんの姿がよく見えていますので、気をつけましょう。(私語が多い・大きい、内職、居眠りなどはNG)

## 課題内容

### ○立体表現「ユニット」

現代の技術進歩により、同一形態の量産や加工が容易なものとなったことで、以前より速く、正確に立体物を作ることができるようになりました。

私たちの生活にも同じ形をしたものが辺りを見渡せばたくさん見つかると思います。技術が進歩する中、自らの手で作ることで普段何気なく見ているものも、また違ったかたちで映るかもしれません。

今回は「エネルギー」をテーマに同じ形態を組み合わせ集合体として新しいかたちを生み出します。一つでは小さいものでも、集まることで存在感が増し、力のある空間が生まれます。（人の多い場所やたくさんの石で築かれた城壁、打ち上げ花火 etc .）自身にとってのエネルギー、集まりとは何かを考えながら制作してください。

### ○課題準備物

- ・ ケント紙
- ・ カッター
- ・ アクリルガッシュ
- ・ 定規(長さがあると便利です)
- ・ シャーペンまたは鉛筆
- ・ カッターマット
- ・ 筆
- ・ 筆洗いバケツ
- ・ マスキングテープ

## ○制作条件

- ・ 1辺 4cm 角の正方形から 50 枚以上の同一形態のデザインを組み合わせる
- ・ 自立する構成にする(最低 4 点は接していた方が良い)
- ・ 着色する時は最低 2 色(1 色は単色、もう一色は混色にする。白も 1 色とするがしっかり着色する)※何色使用しても良いが、その分作業量が増える
- ・ 裏表は同じデザインを描く(コンセプトによっては最大 2 パターンのデザインも可)
- ・ 適当な色塗りが減点対象(マスキングテープ使用可)
- ・ 既存のキャラクターは使用しない(採点の際、想像点がないので点数は高くありません)
- ・ 切り込み(スリット)は密集型と拡散型があり、選んでそのパターンのみで構成  
密集型：拡散型より小さくなり、構成する際に安定感がある  
拡散型：一つ一つの間が大きくなる為、広がりのあるかたちができるが、かたちによっては不安定になる

## ○作業の流れ

- ・ ユニットに使用するデザイン案を考える(プリントを配り、最低 3 種類出す)
- ・ ケント紙から 4cm 角の正方形を切り出す(捨て型として型紙を一枚作り、それを定規代わりにする、一枚のケント紙で最大 117 枚分)
- ・ 準備ができれば、決めたデザインで一枚仕上げる
- ・ 仕上げた紙を基準に残りの紙も仕上げていく
- ・ 丁寧に一枚ずつ着色する
- ・ 切り込みパターンを決め、切り込みを約 5mm で行う(設置面のスリットは入れない方が強度が上がる)  
※ 両方のパターンが混ざると組み上げることが出来なくなる
- ・ 全て完成したら組み合わせてレポート(モチーフ、制作意図、感想)とともに提出

## 中断の際

※自分のものと分かるように、ケント紙の端切れに名前を書き、切った紙をまとめて輪ゴムで留めて保管する